



高校生（前列）の舞いを手本に練習する葛巻中の3年生

### 先輩から伝統継ぐ 葛巻中が神楽練習

葛巻中学校（菊地正道校長）の3年生20人は8月1日と2日、葛巻高校郷土芸能部の生徒10人と葛巻神楽の合同練習を行いました。同校では、昨年からお囃子や下舞を取り入れた、より本格的な葛巻神楽の継承に取り組んでおり、合同練習では高校生が後輩に舞や太鼓、笛などを丁寧に指導しました。郷土芸能部の緑川葵巳さん（1年）は「鶏舞の躍動感を出せるよう力強く舞って欲しい」とアドバイスし、指導を受けた西島美優さんは「みんなと心を合わせて踊りたい」と意欲を見せていました。



旧馬淵川小学校の窓拭きをする生徒

### 地域へ感謝伝える 江中地区奉仕活動

7月22日、江刈中学校（鈴木雅史校長、生徒22人）が江刈地区の各集会所などで地区奉仕活動を行いました。この活動は、地域学校協働活動の一環として行われており、今年は新たに車門ふるさと会館と遠矢場センターを加え、江刈地区の全6施設で行われました。生徒は班に分かれ、地域の皆さんに日頃の感謝を伝えようと、各施設の窓や床、玄関などを細部まで一生懸命に掃除していました。冬は中学校周辺の清掃活動を予定しています。

### 事故防止めざまし作戦 運転手に注意呼び掛け

8月10日、道の駅くずまき高原で、町交通安全対策協議会主催の「交通事故防止めざまし作戦」が行われ、交通指導隊員や小田防犯少年隊ら17名が参加しました。夏は暑さや夏休みの開放感、帰省や旅行などの長距離運転の疲れから、交通安全の意識が低下しやすくなります。交通指導隊員の山崎邦廣さんは「スピードの出し過ぎと交通ルールの遵守を意識して欲しい」と注意を促しました。子どもたちは元気いっぱい牛乳とチラシを配り、運転手に事故防止を呼び掛けていました。



牛乳を渡しながらか交通安全を呼び掛ける小学生

### 水に慣れ楽しさ知る 小中学生の水泳教室

7月～8月、葛巻小学校屋内プールで小中学生水泳教室（町スポーツ協会スポーツクラブ主催）が行われ、児童生徒20人が参加しました。教室は全3回開催され、7月27日の第1回目の教室では、水に慣れて恐怖心を無くすことや、水への理解を深めることを中心に行われました。講師の千葉準也さん（盛岡市）は「水泳が苦手な子も得意な子も、水の楽しさを知って欲しい」と語り、お手本を示しながら指導していました。子どもたちは徐々に水の中での動き方を覚え、水泳の楽しさを感じたようでした。



講師の千葉準也さんと説明を聞く子どもたち

### 新鮮な野菜や花 あさいち賑わう

くずまき産直連絡協議会（土谷和弘会長）は8月12日、JR葛巻駅構内で「産直連携あさいち」を開催しました。あさいちには、町内の産直施設や農家がテントを並べ、収穫したての新鮮な野菜や、お盆に欠かせないお供え用の生花などを販売。あいにくの雨にも関わらず、お盆の支度をしようと早朝から多くの買い物客が訪れ、品物は飛ぶように売れていました。また、会場では町産の菜種を使用した「くずまきなあぶら」が当たる抽選会も開催され、来場者を楽しませていました。



色鮮やかな生花を買い求める来場者



手作りの縁日を楽しむ親子

### 3年ぶりに親子で 江刈保の夏まつり

7月29日、江刈保育園で夏まつりが開催され、園児と保護者ら約30人が参加しました。今年の夏まつりは3年ぶりに親子参加の行事となり、園庭には園児が色紙や紙粘土で手作りしたリンゴあめやクレープ、お面などの縁日が賑やかに並びました。また、保護者が準備した軽トラックの屋台では、射的や輪投げなどに園児が夢中になっていました。父母会長の入月明さんは「久しぶりに親子で楽しむお祭りにできて良かった。これからも親子行事を活発にしたい」と語っていました。